



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月15日

上場会社名 石井食品株式会社
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務統括部財務マネージャー (氏名) 松本 英士 TEL 047 (774) 8748
 定時株主総会開催予定日 2019年6月22日 配当支払開始予定日 2019年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 9,694 | △6.7 | 2 | △98.8 | 3 | △98.1 | 9 | △95.1 |
| 2018年3月期 | 10,387 | △1.4 | 194 | — | 170 | — | 194 | — |

(注) 包括利益 2019年3月期 10百万円 (△97.1%) 2018年3月期 365百万円 (—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年3月期 | 0.55 | — | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| 2018年3月期 | 11.09 | — | 5.1 | 2.0 | 1.9 |

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 8,364 | 3,755 | 44.9 | 222.53 |
| 2018年3月期 | 9,085 | 3,932 | 43.3 | 224.66 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,755百万円 2018年3月期 3,932百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年3月期 | 288 | △210 | △481 | 3,323 |
| 2018年3月期 | 829 | △124 | △70 | 3,727 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|-----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 52 | 27.0 | 1.4 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 50 | 545.5 | 1.3 |
| 2020年3月期 (予想) | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | | 101.4 | |

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,000 | 3.1 | 100 | — | 100 | — | 50 | — | 2.96 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期 | 18,392,000株 | 2018年3月期 | 18,392,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期 | 1,514,996株 | 2018年3月期 | 886,971株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2019年3月期 | 17,408,405株 | 2018年3月期 | 17,506,033株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 9,646 | △6.5 | 23 | △89.3 | 13 | △92.8 | △14 | — |
| 2018年3月期 | 10,322 | △1.7 | 219 | — | 191 | — | 216 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 |
|----------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | △0.83 | — |
| 2018年3月期 | 12.36 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 8,347 | 3,766 | 45.1 | 223.17 |
| 2018年3月期 | 9,066 | 4,055 | 44.7 | 231.67 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,766百万円 2018年3月期 4,055百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の記述等に関するご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 12 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における食品業界を取り巻く環境は、人口動態や家族構成等の社会構造の変化に大きく影響を受け、消費者のライフスタイルが変化するとともに、食に対するニーズも地域や年代・家族構成等により多様化しております。特により簡便で手軽な食へのニーズへの対応は顕著になってきております。さらに、当連結会計年度においては、豪雨・猛暑・地震等の自然災害が相次ぎ、各地で被害がもたらされ、食品業界においても、原材料の調達・流通網の停止・工場設備の破損等一部生産活動及び販売活動への影響が発生しました。

このような状況の中、当社は「第4創業期を作る」をテーマに掲げ、新しいビジネスモデルの確立と既存ビジネスの収益構造の改善の双方に取り組んでまいりました。

新しいビジネスモデルの確立については、日本の各地域の生産者や行政と連携し、地域食材と旬の季節商品の強化に取り組んでまいりました。食材にかける手間ひまを代行し、ただ手軽なだけではないより食材の奥深さを味わえる食提供を推進し、中でも「千葉白子町の新玉ねぎをつかったハンバーグ」「茨城筑波山麓の玉ねぎを使ったハンバーグ」「千葉市原の姉崎だいこんおろしソースハンバーグ」や「地域の栗ご飯シリーズ」については好評を頂き売上高は増加いたしました。

既存ビジネスの収益構造の改善については、より付加価値の高い活動・商品・取引へのシフトを掲げ、商品やチャネルの整理を実施した結果、売上高が減少いたしました。営業部門、製造部門ともに、働き方の効率化や利益率の改善を行いつつ、売上高を拡大することが今後の課題となっております。

広報活動においては、ファン作り・ファンとのコミュニケーションをテーマに、記者会見、メディアとの関係強化、電車広告、SNS発信、イベント出展などの活動をより強化、継続してまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は前年同期比6億93百万円減の96億94百万円となり、売上総利益は前年同期比3億42百万円減の35億39百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比1億50百万円減の35億36百万円となり、2百万円の営業利益（前年同期比1億92百万円減）となりました。

これに営業外収益39百万円、営業外費用38百万円を加減した結果、3百万円の経常利益（前年同期比1億66百万円減）となり、特別利益に補助金収入55百万円、投資有価証券売却益39百万円及び受取保険金6百万円、特別損失に固定資産処分損33百万円及び災害による損失5百万円を計上した結果、税金等調整前当期純利益は65百万円（前年同期比1億9百万円減）となり、これに法人税等合計56百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は9百万円（前年同期比1億84百万円減）となりました。

製品別及びチャネル別業績の概況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

| 製品別売上高 | 前連結会計年度 (2017. 4. 1～2018. 3. 31) | | 当連結会計年度 (2018. 4. 1～2019. 3. 31) | | 比較増減 | |
|--------------------------|-------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 趨勢比 |
| | | % | | % | | % |
| 食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他) | 8,424,471 | 81.1 | 8,179,803 | 84.4 | △244,668 | 97.1 |
| 惣菜 | 686,075 | 6.6 | 629,389 | 6.5 | △56,685 | 91.7 |
| 正月料理 | 954,533 | 9.2 | 522,136 | 5.4 | △432,396 | 54.7 |
| 非常食 | 163,046 | 1.6 | 178,170 | 1.8 | 15,124 | 109.3 |
| 地域商品 | 34,073 | 0.3 | 72,706 | 0.7 | 38,633 | 213.3 |
| 配慮食 (食物アレルギー・減塩他) | 42,920 | 0.4 | 43,956 | 0.5 | 1,035 | 102.4 |
| その他 | 82,754 | 0.8 | 68,597 | 0.7 | △14,157 | 82.9 |
| 合計 | 10,387,876 | 100.0 | 9,694,760 | 100.0 | △693,115 | 93.3 |

（注）製品別売上高の区分の変更

前期の当社グループの製品区分は、「食肉加工品」「炊き込みご飯の素・まぜご飯の素」「惣菜（サラダ・煮物他）」「非常食」「配慮食（アレルギー・減塩）」「地域商品」「正月料理」「その他」の区分に分類しておりました。当期は製品区分の見直しを行い、「炊き込みご飯の素・まぜご飯の素」及び「惣菜（サラダ・煮物他）」を「惣菜」として一括表示するとともに、「配慮食（アレルギー・減塩）」「地域商品」「正月料理」「その他」の一部製品を「惣菜」区分に変更いたしました。

前年同期比については、前連結会計年度に遡って製品区分の変更を適用して算定しております。

（単位：千円）

| チャンネル別売上高 | 前連結会計年度 (2017. 4. 1～2018. 3. 31) | | 当連結会計年度 (2018. 4. 1～2019. 3. 31) | | 比較増減 | |
|-----------------|-------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 趨勢比 |
| | | % | | % | | % |
| 量販店（スーパーマーケット他） | 8,551,781 | 82.3 | 8,264,151 | 85.2 | △287,629 | 96.6 |
| 質販店（百貨店他）・生協 | 1,125,054 | 10.8 | 980,231 | 10.1 | △144,823 | 87.1 |
| 飲食店・宅配・官公庁 | 627,708 | 6.1 | 356,054 | 3.7 | △271,654 | 56.7 |
| 直販 | 83,331 | 0.8 | 94,323 | 1.0 | 10,991 | 113.2 |
| 合計 | 10,387,876 | 100.0 | 9,694,760 | 100.0 | △693,115 | 93.3 |

食肉加工品において、主力のミートボール群のナショナルブランド商品はアレンジレシピメニュー提案を軸とした店舗活動により売上高は前年並みとなりましたが、低価格のプライベートブランド商品の売上高が大幅に減少いたしました。ハンバーグ群は、価格競争の影響により「1.5倍チキンハンバーグ」及び「チキンハンバーグ」が大手スーパーチェーンを中心に売上高が減少いたしました。この結果、食肉加工品（ハンバーグ・ミートボール他）の売上高は前年同期比97.1%となりました。

惣菜において、サラダ群は原材料の産地が明確で素材の風味を生かした商品であることが消費者に受け入れられて前年並みとなりましたが、まぜご飯・炊き込みご飯群及び冷凍商品群については、不採算商品の終売等により大幅に減少いたしました。この結果、惣菜の売上高は前年同期比91.7%となりました。

正月料理は、全食材の国産化・産地の明確化を徹底し、より安全で地域性を出した商品づくりに移行いたしました。また、人員不足及び年末繁忙期における物流事情の影響により、数量及びチャンネルを絞った上で付加価値の高い商品を生産する方針といたしました。この結果、正月料理の売上高は、前年同期比54.7%となりました。

地域商品は、日本の各地域の生産者や行政と連携し、地域食材と旬の季節商品の強化に取り組み、「地域のハンバーグシリーズ」「地域の栗ご飯シリーズ」「地域の筍ご飯シリーズ」等多数の地域食材商品を発売してまいりました。この結果、地域商品の売上高は前年同期比213.3%となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末の54億35百万円に対し、4億69百万円減の49億65百万円（前年同期比8.6%減）となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金、商品及び製品の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末の36億49百万円に対し、2億50百万円減の33億99百万円（前年同期比6.9%減）となりました。主な要因は、有形固定資産、投資有価証券の減少であります。

この結果、総資産は前連結会計年度末の90億85百万円に対し、7億20百万円減の83億64百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末の29億63百万円に対し、4億48百万円減の25億14百万円（前年同期比15.1%減）となりました。主な要因は、買掛金、短期借入金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等、その他流動負債の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末の21億89百万円に対し、95百万円減の20億94百万円（前年同期比4.4%減）となりました。主な要因は、リース債務、退職給付に係る負債の減少であります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末の51億52百万円に対し、5億43百万円減の46億9百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末の39億32百万円に対し、1億76百万円減の37億55百万円（前年同期比4.5%減）となりました。主な要因は、自己株式の取得、配当金の支払、その他有価証券評価差額金の減少、退職給付に係る調整額の変動に伴う増加であります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4億3百万円減少し、33億23百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動により増加した資金は2億88百万円（前年同期は8億29百万円の増加）となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上、仕入債務の減少、法人税等の支払額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動により減少した資金は2億10百万円（前年同期は1億24百万円の減少）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動により減少した資金は4億81百万円（前年同期は70百万円の減少）となりました。

主な要因は、短期借入金の返済による支出、自己株式の取得による支出、配当金の支払額であります。

（4）今後の見通し

次期の活動につきましては、「日本一、生産者と地域に貢献する食品会社になる」の目標を掲げ、地域食材と旬の季節商品という新しいビジネスモデルの確立は引き続き強化するとともに、直営店を含む消費者に直接コンセプトや価値を伝えられるチャネル開拓・関係強化を行います。

2020年3月期は、売上高100億円、経常利益1億円、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,727,196 | 3,323,639 |
| 売掛金 | 1,413,271 | 1,374,784 |
| 商品及び製品 | 97,299 | 65,609 |
| 仕掛品 | 11,085 | 12,661 |
| 原材料及び貯蔵品 | 145,980 | 148,134 |
| その他 | 40,794 | 40,859 |
| 流動資産合計 | 5,435,626 | 4,965,689 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 9,399,536 | 9,277,090 |
| 減価償却累計額 | △8,165,371 | △8,143,991 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,234,165 | 1,133,099 |
| 機械装置及び運搬具 | 7,767,812 | 7,677,534 |
| 減価償却累計額 | △7,075,235 | △6,944,588 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 692,577 | 732,945 |
| 工具、器具及び備品 | 602,017 | 545,220 |
| 減価償却累計額 | △570,026 | △521,220 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 31,990 | 24,000 |
| 土地 | 904,052 | 904,052 |
| リース資産 | 153,621 | 162,141 |
| 減価償却累計額 | △63,243 | △85,298 |
| リース資産(純額) | 90,378 | 76,842 |
| 建設仮勘定 | 8,100 | — |
| 有形固定資産合計 | 2,961,265 | 2,870,940 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 32,337 | 21,075 |
| 投資有価証券 | 591,271 | 424,582 |
| 繰延税金資産 | 24,494 | 43,401 |
| その他 | 89,380 | 88,066 |
| 貸倒引当金 | △48,916 | △48,916 |
| 投資その他の資産合計 | 656,230 | 507,133 |
| 固定資産合計 | 3,649,833 | 3,399,149 |
| 資産合計 | 9,085,459 | 8,364,839 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 540,911 | 474,804 |
| 短期借入金 | 1,330,000 | 1,060,000 |
| リース債務 | 21,982 | 23,181 |
| 未払費用 | 750,699 | 720,483 |
| 未払法人税等 | 53,142 | 25,282 |
| 未払消費税等 | 67,585 | 40,537 |
| 賞与引当金 | 76,489 | 80,787 |
| その他 | 122,401 | 89,913 |
| 流動負債合計 | 2,963,213 | 2,514,991 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,300,000 | 1,300,000 |
| リース債務 | 78,048 | 62,620 |
| 繰延税金負債 | 5,464 | — |
| 退職給付に係る負債 | 643,028 | 568,487 |
| 資産除去債務 | 23,129 | 23,153 |
| 長期未払金 | 139,894 | 139,894 |
| 固定負債合計 | 2,189,566 | 2,094,156 |
| 負債合計 | 5,152,779 | 4,609,148 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 919,600 | 919,600 |
| 資本剰余金 | 672,801 | 672,801 |
| 利益剰余金 | 2,493,803 | 2,450,897 |
| 自己株式 | △175,781 | △310,806 |
| 株主資本合計 | 3,910,424 | 3,732,492 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 132,340 | 34,608 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △110,084 | △11,410 |
| その他の包括利益累計額合計 | 22,255 | 23,198 |
| 純資産合計 | 3,932,679 | 3,755,690 |
| 負債純資産合計 | 9,085,459 | 8,364,839 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 10,387,876 | 9,694,760 |
| 売上原価 | 6,506,117 | 6,155,524 |
| 売上総利益 | 3,881,758 | 3,539,235 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,687,338 | 3,536,929 |
| 営業利益 | 194,420 | 2,306 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 136 | 136 |
| 受取配当金 | 10,172 | 9,989 |
| 受取賃貸料 | 5,490 | 5,083 |
| 廃油売却益 | 14,889 | 14,365 |
| 雇用促進奨励金 | 2,916 | 2,268 |
| その他 | 7,004 | 7,394 |
| 営業外収益合計 | 40,610 | 39,237 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,371 | 16,550 |
| たな卸資産廃棄損 | 45,859 | 20,459 |
| その他 | 1,734 | 1,272 |
| 営業外費用合計 | 64,965 | 38,282 |
| 経常利益 | 170,064 | 3,261 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 9,958 | 55,738 |
| 投資有価証券売却益 | — | 39,129 |
| 受取保険金 | — | 6,685 |
| 特別利益合計 | 9,958 | 101,553 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 2,651 | 33,810 |
| 減損損失 | 2,432 | — |
| 災害による損失 | — | 5,319 |
| 特別損失合計 | 5,084 | 39,130 |
| 税金等調整前当期純利益 | 174,939 | 65,685 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 52,990 | 38,727 |
| 法人税等調整額 | △72,267 | 17,348 |
| 法人税等合計 | △19,276 | 56,076 |
| 当期純利益 | 194,215 | 9,608 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 194,215 | 9,608 |

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 194,215 | 9,608 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 59,249 | △97,731 |
| 退職給付に係る調整額 | 111,615 | 98,674 |
| その他の包括利益合計 | 170,864 | 942 |
| 包括利益 | 365,080 | 10,551 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 365,080 | 10,551 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 919,600 | 672,801 | 2,352,108 | △175,422 | 3,769,086 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △52,520 | | △52,520 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 194,215 | | 194,215 |
| 自己株式の取得 | | | | △358 | △358 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 141,695 | △358 | 141,337 |
| 当期末残高 | 919,600 | 672,801 | 2,493,803 | △175,781 | 3,910,424 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 73,091 | △221,699 | △148,608 | 3,620,478 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △52,520 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | 194,215 |
| 自己株式の取得 | | | | △358 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 59,249 | 111,615 | 170,864 | 170,864 |
| 当期変動額合計 | 59,249 | 111,615 | 170,864 | 312,201 |
| 当期末残高 | 132,340 | △110,084 | 22,255 | 3,932,679 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 919,600 | 672,801 | 2,493,803 | △175,781 | 3,910,424 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △52,515 | | △52,515 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 9,608 | | 9,608 |
| 自己株式の取得 | | | | △135,025 | △135,025 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △42,906 | △135,025 | △177,931 |
| 当期末残高 | 919,600 | 672,801 | 2,450,897 | △310,806 | 3,732,492 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 132,340 | △110,084 | 22,255 | 3,932,679 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △52,515 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | 9,608 |
| 自己株式の取得 | | | | △135,025 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △97,731 | 98,674 | 942 | 942 |
| 当期変動額合計 | △97,731 | 98,674 | 942 | △176,989 |
| 当期末残高 | 34,608 | △11,410 | 23,198 | 3,755,690 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 174,939 | 65,685 |
| 減価償却費 | 346,180 | 331,710 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,287 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 814 | 4,298 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 18,889 | 24,133 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10,308 | △10,126 |
| 支払利息 | 17,371 | 16,550 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 2,651 | 33,810 |
| 減損損失 | 2,432 | — |
| 災害損失 | — | 5,319 |
| 補助金収入 | △9,958 | △55,738 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △39,129 |
| 受取保険金 | — | △6,685 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △204,278 | 38,487 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 14,725 | 27,959 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 255,452 | △66,106 |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少) | △1,489 | △2,230 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △2,343 | △27,047 |
| その他 | 265,564 | △39,203 |
| 小計 | 869,356 | 301,685 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10,127 | 10,223 |
| 利息の支払額 | △17,405 | △16,458 |
| 災害損失の支払額 | — | △5,319 |
| 補助金の受取額 | 9,958 | 55,738 |
| 保険金の受取額 | — | 6,685 |
| 法人税等の還付額 | 37 | 37 |
| 法人税等の支払額 | △42,917 | △64,357 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 829,158 | 288,235 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 69,036 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,717 | △2,670 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △121,656 | △258,654 |
| 有形固定資産の除却による支出 | — | △19,464 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △807 | — |
| その他 | 559 | 965 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △124,621 | △210,786 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 1,330,000 | 1,060,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △1,080,000 | △1,330,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △250,000 | — |
| リース債務の返済による支出 | △17,713 | △23,465 |
| 自己株式の取得による支出 | △358 | △135,025 |
| 配当金の支払額 | △52,520 | △52,515 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △70,592 | △481,005 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 633,944 | △403,556 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,093,251 | 3,727,196 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,727,196 | 3,323,639 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 224.66円 | 222.53円 |
| 1株当たり当期純利益 | 11.09円 | 0.55円 |

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 194,215 | 9,608 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 194,215 | 9,608 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 17,506,033 | 17,408,405 |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産額の部の合計額(千円) | 3,932,679 | 3,755,690 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 3,932,679 | 3,755,690 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株) | 17,505,029 | 16,877,004 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。